

【コラム1】集落の暮らし



新聞が自宅に届かない地区があり、「共同新聞受け」が設置されています。

各世帯では、毎朝ここまで取りに来ますが、遠方では車で 10 分ほどかかる世帯もあります。

この場所で会話が弾むこともあります。



店が遠く、車のない世帯では、宅配・移動販売の利用や、都市部に住んでいる親族に必要な物を買ってきてもらっています。

娯楽の少ない地域にあって、移動販売で品定めするのは、ちょっとした楽しみでもあります。

集落へ続く生活道路や山林を通る道路は、地域コミュニティが一体となって協力して、掃除や補修などの管理をしています。このような道普請（みちぶしん）は、年 2 回ほど行われます。

このほか、支給された材料（コンクリートなど）を使って、地域住民自ら舗装整備を行うこともあります。



斜面が急すぎるなどの理由で自宅までの道路がない家庭があり、自宅から最寄りの道路までの間を「乗用モノレール」で乗り継ぎ、食料品や日用品、プロパンガスや灯油などを運んでいます。

長いものでは、道路から自宅までレールの全長が 120m のものもあります。

